文系ラボ　日本史のテーマ史

日本史 仏教・宗教史 確認問題集

全19問　／　解答・解説は後半　　名前 _____

記事「日本史 仏教・宗教史の流れ｜伝来から神仏分離・政教分離まで」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部　一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 仏教の力で国家の災いをしずめ、安定をもたらそうとする奈良時代の考え方を何というか。

2 741年に聖武天皇が出し、国ごとに僧寺と尼寺を建てさせた詔を何というか。

3 称徳天皇の信任を得て太政大臣禅師・法王となり、権力をふるった僧は誰か。

4 空海が開いた真言宗の密教を、天台宗の密教（台密）に対して何と呼ぶか。

5 10世紀中ごろ、京都の市中で庶民に念仏を勧め、「市聖」と呼ばれた僧は誰か。

6 末法の初年とされた1052年に、藤原頼通が宇治の別荘を改めて開いた寺は何か。

7 親鸞の死後、弟子の唯円が師の言葉をまとめた書物は何か。

8 律宗の叡尊の弟子で、奈良に北山十八間戸を設けた僧は誰か。

9 室町時代、五山に属さなかった大徳寺・妙心寺などの禅の寺院を何というか。

10 江戸時代、宗派の違いをこえてすべての寺院に共通する法度として1665年に出されたものは何か。

第2部　正誤問題

次の文ア〜エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 古代の仏教について。

ア　仏教は百済の聖明王から欽明天皇に伝えられた。

イ　587年に蘇我馬子が物部守屋を滅ぼした。

ウ　大仏造立の詔は、741年に恭仁京で出された。

エ　鑑真は東大寺に戒壇を設け、聖武上皇らに戒を授けた。

12 平安時代の仏教と神仏習合について。

ア　本地垂迹説は、神が本体で仏はその仮の姿であるとする説である。

イ　最澄は比叡山に大乗戒壇を設けようとし、822年に認められた。

ウ　空海は高野山に金剛峰寺を開いた。

エ　源信は『往生要集』を著し、念仏による極楽往生を説いた。

13 鎌倉時代の仏教について。

ア　法然は1175年に専修念仏を説き、浄土宗を開いた。

イ　日蓮は『立正安国論』を著し、北条時頼に差し出した。

ウ　栄西は宋から帰国して臨済宗を伝え、『興禅護国論』を著した。

エ　道元は鎌倉幕府に招かれて建長寺を開き、只管打坐を説いた。

14 近世・近代の宗教政策について。

ア　寺請制度では、檀那寺が檀家がキリシタンでないことを証明した。

イ　神仏分離令は、寺院や仏像を壊すことを命じた法令である。

ウ　1671年から宗門人別改帳が全国で作られるようになった。

エ　1873年、政府はキリシタン禁制の高札を撤去した。

第3部　年代の並べ替え

次のア〜エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 古代の仏教に関するできごとを年代順に並べなさい。

ア　東大寺の大仏の開眼供養が行われた。

イ　蘇我馬子が物部守屋を滅ぼした。

ウ　源信が『往生要集』を著した。

エ　最澄・空海が唐に渡った。

16 中世の仏教に関するできごとを年代順に並べなさい。

ア　栄西が宋から帰国した。
イ　加賀の一向一揆が守護を倒した。
ウ　法然が専修念仏を説いた。
エ　天文法華の乱が起こった。

17 近世から戦後の宗教政策を年代順に並べなさい。

ア　神仏分離令が出された。
イ　諸宗寺院法度が出された。
ウ　神道指令が出された。
エ　大日本帝国憲法が発布された。

第4部　論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 鎌倉新仏教が武士や庶民に広まった理由を、旧仏教との違いにふれながら150字程度で説明しなさい。

19 江戸幕府が寺請制度を設けた目的と、それが寺院や社会にもたらした結果を150字程度で説明しなさい。

日本史 仏教・宗教史 確認問題集　解答・解説

第1部　一問一答

1 **鎮護国家**

律令国家は官寺を建て、護国の経典を読ませて国の安泰を祈らせました。国分寺や東大寺の大仏はその代表です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／奈良時代

2 **国分寺建立の詔**

都が恭仁京にあった時期に出されました。743年に紫香楽宮で出された大仏造立の詔と、年と場所を区別して覚えます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／奈良時代

3 **道鏡**

769年に宇佐八幡の神託を利用して皇位につこうとしましたが、和気清麻呂らに阻まれ、770年に下野の薬師寺へ左遷されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／奈良時代

4 **東密**

天台宗でも円仁・円珍が密教を本格的に取り入れ、台密と呼ばれました。密教の加持祈祷は貴族に受け入れられました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／平安時代前期

5 **空也**

同じ10世紀の985年には、源信が『往生要集』を著して貴族の間に浄土教を広めました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／平安時代中後期

6 **平等院**

翌1053年に阿弥陀堂（鳳凰堂）が建てられました。末法思想と浄土教の広まりを示す寺です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／平安時代中後期

7 **『歎異抄』**

親鸞自身の主著は『教行信証』です。両者の取り違えは正誤問題の定番です。

記事の該当箇所：比べて覚える

8 **忍性**

ハンセン病の人々を救うための施設です。忍性は鎌倉の極楽寺でも社会事業を行いました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／鎌倉時代

9 **林下**

幕府が住持を任命する五山に対し、林下は地方の武士や民衆の間に教えを広め、しだいに五山をしのぐ勢いになりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／室町・戦国時代、比べて覚える

10 **諸宗寺院法度**

それまでの寺院法度は宗派や大寺院ごとに出されていました。同じ年に、神社を統制する諸社禰宜神主法度も出されています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代

第2部　正誤問題

11 **ウ**

大仏造立の詔は743年に紫香楽宮で出されました。741年は国分寺建立の詔で、都は恭仁京にありました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／奈良時代、入試で狙われるポイント

12 **ア**

本地垂迹説は、仏・菩薩が本体（本地）で、神がその仮の姿（垂迹）とする説です。逆にとらえたのが伊勢神道などの反本地垂迹説です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／平安時代

13 **エ**

道元は権力者との結びつきを避けて越前に永平寺を開きました。建長寺を開いたのは宋から来日した蘭渓道隆です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／鎌倉時代

14 **イ**

神仏分離令は神と仏を制度のうえで分けるための法令で、仏教の廃絶を命じたものではありません。廃仏毀釈はそれをきっかけに各地で起こりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代・明治時代

第3部　年代の並べ替え

15 **イ→ア→エ→ウ**

物部守屋の滅亡（587年）→大仏の開眼供養（752年）→最澄・空海の入唐（804年）→『往生要集』（985年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 **ウ→ア→イ→エ**

法然の専修念仏（1175年）→栄西の帰国（1191年）→加賀の一向一揆（1488年）→天文法華の乱（1536年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

17 **イ→ア→エ→ウ**

諸宗寺院法度（1665年）→神仏分離令（1868年）→大日本帝国憲法（1889年）→神道指令（1945年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

第4部　論述問題

18 **解答例：平安末期から続く戦乱や飢饉、末法思想の広まりで、人々は救いを強く求めていた。旧仏教は難しい学問や造寺・寄進を重んじたが、新仏教は念仏・題目・坐禅など1つの実践しやすい行いで、身分に関係なく救われると説いた。このため、学問や財力を持たない武士や庶民にも受け入れられた。**

採点のポイント：①社会の不安（戦乱・飢饉）と末法思想、②旧仏教が学問・造寺・寄進を重んじたこと、③念仏・題目・坐禅など実践しやすい行い、④身分に関係なく救われると説いたこと、の4点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／鎌倉時代、論述で使える要点

19 **解答例：江戸幕府はキリスト教を禁じるため、人々を檀那寺の檀家とし、寺にキリシタンでないことを証明させた。宗門人別改帳が作られて寺院は戸籍を管理する役割を担い、檀家制度が定着した。その結果、寺院の経営は安定したが、仏教は幕府の民衆支配のしくみに組みこまれた。**

採点のポイント：①目的はキリスト教の禁止、②檀那寺による証明（寺請）、③宗門人別改帳と戸籍の役割、④檀家制度の定着と、寺院が民衆支配に組みこまれたこと、の4点が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／江戸時代、論述で使える要点

問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。